

ヒットブランド の源泉

株式会社 遠藤照明



株式会社 遠藤照明 概要



本社所在地：大阪府大阪市中央区備後町一丁目7番3号

創業：1967年9月

代表取締役社長：遠藤 邦彦

従業員数(連結)：1,493名(2018年3月末現在)

事業内容：各種照明器具の企画・デザイン・設計・製造
及び 販売、インテリア家具・用品の販売

H P：https://www.endo-lighting.co.jp/

沿革：

- 1967年 大阪市城東区において遠藤照明器具製作所を創業、照明器具の製造を開始
- 1969年 船舶用照明器具の製造開始
- 1972年 法人組織に改組し、東大阪市に株式会社遠藤照明を設立、店舗用製造販売に本格的に取り組む
東大阪市に第一工場を開設
白熱灯を中心とするダウンライト、シーリングライト、スポットライト、ペンダント、シャンデリア、ブラケットの照明器具を自社ブランドで発売開始
- 1986年 輸入品の販売拡大のために「ABiTA」オリジナルブランド新設
- 1989年 照明技術研究所を東大阪市に新設
- 1992年 東大阪市に生産技術研究所を開設
- 1997年 インテリア家具事業・システム収納家具(組立家具)の販売を開始
- 2006年 本社を大阪市中央区に移転し、本社ショールームを新設
- 2009年 LEDモジュールを開発し、LED照明器具「LEDZ」の商品化に成功、佐野工場にてLED照明の生産を開始
大阪府東大阪市にLED照明器具新製品開発拠点「テクニカルセンター」を新設
- 2015年 大阪市中央区本町1-6-19を大阪事業所とし、本社機能を大阪府大阪市中央区備後町1-7-3へ移転
- 2017年 会社創業50周年



（文中での敬称は略させていただきます。）

今から10年前、2009年当時のLED価格と言えば高額で、一部で使われていたに過ぎませんでした。2009年、価格面でも性能面でも実用性のあるLEDを他社に先駆けて発売したのが、施設用照明器具メーカーの株式会社遠藤照明様です。

亀井龍治 LED中央研究所商品企画部商品企画2課課長、金田聡人 営業本部東京支店東京営業課課長、中村英弘 LED中央研究所商品企画部商品企画1課の3氏にお話しいただきました。

ENDO
LIGHTING CORP.



右：亀井龍治 LED中央研究所商品企画部商品企画2課課長
中：金田聡人 営業本部東京支店東京営業課課長
左：中村英弘 LED中央研究所商品企画部商品企画1課

「光」の空間を マネジメントする 施設照明の遠藤照明

編集部 まずは、皆様方の簡単なプロフィールから教えてください。

亀井 2000年に入社し、商業施設の提案営業、建築事務所との提案営業、現在は商品企画に携わっています。

金田 2005年に入社し、埼玉営業所、次いで東京営業課と販売実務を担当しています。

中村 2015年に入社してすぐ開発部門、その後は現在まで商品企画に携わっています。

**実用的LED照明を
世界に先駆け開発**

編集部 かなり早い時期にLED照明を発売されていますね。

亀井 当社は1967年創業で今年創業52周年を迎えます。

照明メーカーとしては、最後発になりますので、何か新しい商材、新しい提案をしておく必要があります。もちろん2009年当時にLED照明自体は既にありましたが、パワーやコスト面で課題があり、利用は一部の施設に限られていました。そこで、コスト面でも、性能面でも実用的というLED照明を世界に先駆けて発売したのです。

金田 フロー市場でさえLED化率がまだそれほど進んでいなかった時代ですから、その当時のLEDラインナップの多さは群を抜いていたと思います。

ます。

編集部 先見の明ですね。

亀井 周りからは『大丈夫？』という声もよく聞こえてきましたよ。そんな時に朝礼で『これから当社は全面的にLED照明に転換していく』と会社宣言がありましたので、それは驚きましたよね（笑）。

「高付加価値空間創造企業」

編集部 遠藤照明様のメーカーとしての強みはどこにあるのでしょうか。

亀井 より高品質な製品をつくるというのはメーカーとして当たり前のことですが、当社は単に照明器具をつくるというのではなく、快適ややすらぎ、安心、安全など多様な視点で空間に優れた「価値」を創造していくことを理念としてしています。その「高付加価値空間」を社員全員がお客様に提案することが出来ること**が**強みだと言えます。

金田 さらに、施設照明専門

メーカーとして、ノウハウの蓄積もあります。施設照明に関して、あらゆる業種のお客様に納入実績があり、膨大なノウハウがありますので、お客様毎のきめ細やかな対応が可能です。

1万カ所以上の施設に採用

無線調光システム「Smart LEDZ SYSTEM」

編集部 それでは、ヒットブランドについて教えていただけますか。

中村 無線調光システム「Smart LEDZ SYSTEM（スマートレッズシステム）」になります。省エネだけでなく、「光」の空間をマネジメントするという、まさに当社企業理念を体現した商品です。お陰様で2013年に発売して以来、1万カ所以上のお客様施設にご採用頂いています。

編集部 「LEDZ」はどういう意味ですか。

亀井 「LEDZ（レッズ）」は当社のLED照明器具全てを表す、2009年に誕生したブランドです。「Z」はアルファベットの最後の文字ですが、未来への可能性を持つ光源LEDを究極まで進化した形を目指し名付けられています。

編集部 「Smart LEDZ SYSTEM」の特長を教えてください。

中村 大きく次の3点です。①無線のため信号線がフリー。器具の取り換えだけで調光環境を実現。②レイアウトフリー。施設まるごとあらゆる照明が無線につながり、例えば机の位置が変わっても自由に照明の点灯する位置を變えることが出来ます。③更なる省エネ。照明器具は1台ごとに制御可能。人感センサーなどと繋げることで、LEDブラサルファの省エネを実現します。

必要なものは3つだけのシンプルなシステム



タブレット型コントローラ

ゲートウェイ（信号送受信機）

無線モジュール付照明器具

※ゲートウェイを2台以上制御する場合は市販のハブが必要です。

無線で施設まるごと一元管理

編集部 施設まるごと一元管理

が可能ということですが、対応機種はどれくらい。

金田 超小型無線モジュールを

搭載した約2000種類の豊富なラインナップを取り揃えています。さらに、拡張オプションのPWM信号ユニットや無電圧の接点ユニットを設置すれば、PWM信号制御・非調光器具も一括コントロールが可能です。

編集部 そうすると、リニューアルにも最適ですね。照明器具は何台まで一元管理できますか。

亀井 一元管理システムにより最大2万台までの照明器具の管理が可能となります。

編集部 機能はいかがですか。

金田 「人感センサー活用照度対応」「昼光活用照度維持」「適正照度維持（初期照度補正）」「スケジュール照度対応」という4つの基本機能があり、自動で最適な光環

境を整えることができます。例えばオフィスであれば、会議、休憩、プロジェクト使用時などのシチュエーションに合わせて、リモコン操作で簡単にシーン切り替えができます。

充実の無線コントロール対応機種



境を整えることができます。

例えばオフィスであれば、会議、休憩、プロジェクト使用時などのシチュエーションに合わせて、リモコン操作で簡単にシーン切り替えができます。

幅広い対応機種と導入コストの安さがヒットに

編集部 ヒットに至った要因はどんなところにあるとお考えですか。

亀井 簡単に導入できるシステムだったということ、対応できる照明器具が商業分野から建築分野まで幅広かったことだと思えます。

金田 導入コストが安いということも大きいと思います。必ずしもSmart LEDZがベストという提案はしていないのですが、コスト面の説明をするとご採用頂くケースが多くあります。また、使って頂いたお客様のリピートが非常に多かったことがヒットにつながったのだと思います。

編集部 ブランドとして確立するまでは様々な困難があったことかと思えます。

中村 一口に施設と言っても、

オフィスや飲食店、スーパーマーケット、衣料品店など様々で、お客様が照明やシステムの使い勝手に求めていることもそれぞれ違います。それらをいかにまとめて、それぞれのお客様に満足いただける設計にするかという点で苦労しました。

亀井 発売した当初は、無線コントロールに対して漠然とした不安を抱かれるお客様も多く、メリットを説明する前に不安を払拭する必要があるということに若干ハードルがありました。

金田 これまで照明メーカーとして光の技術を磨いてきましたので、無線の技術はいわば門外漢です。私達自身も勉強しながら手探りでお客様への提案を作り上げていかななくてはならず、そこは大変でした。**編集部** 課題はどうやって解決

に導いていくのですか。

亀井 やはり、現場でしか知りえない情報がありますので、営業は勿論のこと、開発部門の担当者もお客様のもとへ伺ってご意見を伺い、課題解決に活かしています。



編集部 最後に、読者の電材卸店の方へメッセージを。

金田 LED照明自体は業界全体としてコモディティ化が進み、製品の差別化がしにくくなっています。そういった中、次のステップとして何をしていくか。遠藤照明では、省エネというメリットだけではなく、地球環境や人に対して光がどうあるべきかということをお客様にご提案していきます。ただ、遠藤照明が他のメーカーと同じことをやっていても価値は無いと思います。実用的なLED照明をいち早く世に出したように、遠藤照明にしかできない、業界に新しい波を起こす役割を果たす企業であり続けたいと思います。

自社テクニカルセンター内に 業界屈指の充実した試験設備

信頼性の高い遠藤照明のものづくりを支えているのは、業界でも屈指の充実した試験設備の数々。

企画・開発、生産、品質保証部門が集結する製品開発拠点であるテクニカルセンターには、世界水準の配光測定装置をはじめ、ノイズ試験・耐候性試験・振動試験などの各種品質管理試験設備があり、常に、高品位な製品がスピーディーに開発されています。

【光学性能】高い信頼性と正しい性能表示

国家基準とのトレーサビリティの取れた配光測定装置による測定に基づき、弊社の責任において安心して器具を選んでいただける信頼性の高い情報を提供しています。

配光測定装置



【耐久性】欠陥及び弱点を事前に発見し改善

国内の照明専門メーカーで初めてHALT（破壊）試験を導入。不安全部分を是正するため、厳しい試験を実施しています。



HALT試験機

【妨害波対策】電気用品安全法に準拠したノイズ信頼性

電気用品安全法対象の商品はもとより、一部商品で対象外のもの（例：直管形LEDモジュール等）に関しても、ENDOの厳しい評価基準に基づき電気用品安全法の技術基準を十分に満足できる仕様。電気用品安全法で規制されている雑音端子電圧、雑音電力について、十分クリアするノイズ性能を有しています。



電波試験室

【耐震性能】建築設備耐震設計・施工指針と大震災の再現による耐震試験

【防水性能】JIS規格に準拠した防水試験性能確認



自動防水試験装置



振動試験器



ノイズ試験室

Fit

遠藤照明の イチ推し! ICHIOSHI ご紹介

遠藤照明の無線コントロールシステム「Smart LEDZ」に新たなラインナップが加わりました。
今春から発売する「Smart LEDZ Fit」は、対応照明器具を入れておくだけで、照明コントロールができる、新発想の調光アプリケーションです。

特長

「いつでもスタート可能」

対応する照明器具を導入しておけば、工事をしなくても照明のコントロールが可能。お手持ちのスマホやタブレットを使ってあかりを簡単にカスタマイズ。

「あとからの変更も自由自在」

レイアウト変更や器具の追加にもフレキシブルに対応。使い方に応じて設定を自由に変えていけるシステムです。

「自由自在にシステム構成を拡張」

シンプルなシステム構成と自由な設定機能。設定データの保存・コピー機能など、便利機能が充実。1システムで最大250台に対応。

用途に合わせてシステムをセレクト可能 使い道にあわせてリーズナブルな“投資”が選べます。

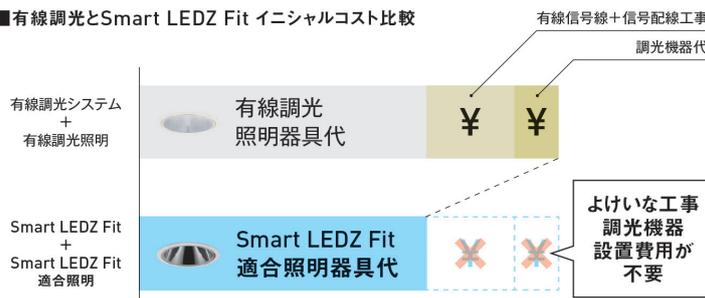
	1	2	3	
Smart LEDZ Fit対応 無線調光照明器具				<ul style="list-style-type: none"> ・照明のON/OFF*/調光 ・調光調色照明の操作 ・センサー設定と運動 ・グループ設定 (最大20グループ/1システム) ・シーン設定 (最大10シーン/1システム) ・グループ・シーンの呼び出し ・シーンセクター 壁付けリモコン ・シーンセクター ハンディリモコン
コントローラ (設定・呼出機能)	スマートフォン タブレット アプリ (端末はお客様でご用意)	 専用タブレット	 専用タブレット (端末はお客様でご用意)	
ゲートウェイ (自動運転機能)				
	手動制御運転 自動制御運転の必要がなく手動で照明制御を行う場合は、最小限のシステムで運用可能。対応の器具さえ入れておけばいつでも導入できます。		自動制御運転 ゲートウェイを組み合わせれば自動制御運転も手軽に導入できます。	

*照明のOFFとは0%調光のことを指します。



「スモールに始めたい」そんなご要望にも“Fit”します。

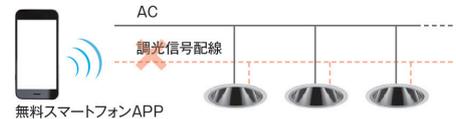
■有線調光とSmart LEDZ Fit インイシャルコスト比較



■有線調光器具構成



■Smart LEDZ Fit 構成



Smart LEDZ

「手動の調光器より
便利でお得！」

自動運転ができるゲートウェイを使っても、手動のライトコントローラよりリーズナブル。

「しっかりつながる
安心の新通信方式」

新しく相互通信方式を採用。通信のリレーによる障害物の回避が可能となり、従来の方式と比べ、より繋がりやすくなりました。器具への制御情報はゲートウェイからも器具からも発信します。

「さまざまな端末で、充実した機能をカンタン利用」

専用アプリで設定・操作がカンタンに。機能の拡張で自動運転やセンサー活用も可能です。

- 主な機能
- ・個別制御
- ・シーン切り替え
- ・スケジュール制御
- ・適正照度維持
- ・昼光活用照度維持
- ・人感センサー制御



大がかりな工事が不要

器具を設置すれば、すぐに始められるシンプルなシステムです。



手動の調光器より便利でお得!

自動運転ができるゲートウェイを使っても、手動のライトコントローラよりリーズナブル。



しっかりつながる安心の新通信方式

新しく相互通信方式を採用。通信のリレーによる障害物の回避が可能となり、従来の方式と比べ、よりつながりやすくなりました。

